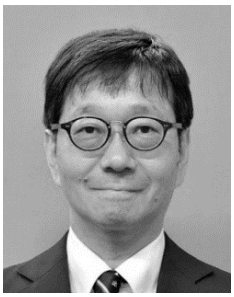
科目名	担当教員
ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅰ	田中　尚



科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CS4184	2	1	RorSR（講義）	3年以上
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

精神保健福祉分野におけるソーシャルワーク（相談援助）について、実践事例を交えて、具体的、実践的な学びを深める。特に、精神保健福祉分野のソーシャルワーク実践の固有性、特殊性を踏まえながら、ソーシャルワークによる援助（支援）がどのように展開され、その意義や価値、支援方法や実践技術がどのように適用され、実践場面の中で位置づけられるのかを学びます。また、ソーシャルワークの発展のなかで、実践理論がどのように形成されてきたのか、さらに、精神疾患、精神障害が歴史的にどのように位置づけられてきたのかといった歴史的変遷と並行して学んでいきます。こんにち、精神保健福祉の課題が医療や福祉の領域に限らず、教育（学校）や司法の領域にまでわたり、幅広いメンタルヘルスの課題がソーシャルワーク実践に欠かせないものであることを考え、学んでいきます。

■到達目標

1）精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの実践例から価値、理論、方法を統合的に学び、精神保健福祉士としての専門的相談援助について理解することができるようになる。
2）精神保健福祉の実践現場での具体的事例を通して、ソーシャルワークの技術を習得することができる。
3）精神保健福祉士の現場実習における具体的なソーシャルワーク（相談援助）の展開、技術を理解することができる。
4）ソーシャルワークの実践理論の形成について理解することができるようになる。
5）こんにちの精神保健福祉の分野・領域の広がりとその意義、必要性に理解することができるようになる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」「俯瞰的な分析力」「倫理的実践力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）Ⅱ」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新精神保健福祉士養成講座［専門科目］6ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）　第2版』中央法規出版、2025年

（最近の教科書変更時期）2026年4月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付する資料を中心にして講義を行います。

【参考図書】

1）公益社団法人日本精神保健福祉士協会監修『ソーシャルワークプロセスにおける思考過程』中央法規出版、２017 年

2）公益社団法人日本精神保健福祉士協会監修『ソーシャルワークの面接技術と記録の思考過程』中央法規出版、2017 年

3）公益社団法人日本精神保健福祉士協会監修『社会資源の活用と創出における思考過程』中央法規出版、2019 年

4）白澤政和編著『ケアマネジメント論』ミネルヴァ書房、2019 年

5）渡部律子著『「人間行動理解」で磨くケアマネジメント実践力』中央法規出版、2013年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

- ソーシャルワークの価値、知識、技術（方法）について学ぶ
- ソーシャルワークの展開（実施）について学ぶ
- 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの特殊性と意義について学ぶ
- ソーシャルワークの発展のなかで、実践理論がどのように形成されてきたのかを学ぶ
- 精神疾患、精神障害が歴史的にどのように位置づけられてきたのかを学ぶ
- こんにちの精神保健福祉の課題が幅広いメンタルヘルスの課題としてソーシャルワーク実践に欠かせないものであることを学ぶ

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	ガイダンスソーシャルワークの構成要素	ソーシャルワークの原則、理念、知識、技術
2	ソーシャルワークの発展・展開過程	ソーシャルワークの背景、実践理論発展過程
3	精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点	精神疾患、精神障害の特性を踏まえたソーシャルワークの留意点
4	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開	精神保健福祉士の業務とミクロ・メゾ・マクロ実践
5	援助関係の形成	援助関係づくりと援助者の態度
6	個別支援の展開	インテーク、アセスメント、支援計画の策定、モニタリング、支援の終結
7	グループワーク（集団援助技術）	グループワークの概念、意義、方法、展開過程
8	ケアマネジメント	ケアマネジメントの概念、アウトリーチ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。また、配付資料をもとに板書もしながら進めます。

■スクーリング評価基準

・スクーリングの最後に試験を行います。その試験については、授業で用いた資料の範囲から出題します。教科書・資料・ノートの持込みは不可とします。

・特に、到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

・スクーリング授業の範囲内である、教科書の第 1 章から第２章は読んできてください。

・普段から精神保健福祉分野に関するニュースや新聞の記事などに目を通すようにしてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	ソーシャルワークとは何か	ソーシャルワークのグローバル定義、原則、原理、知識、価値	ソーシャルワークとは何か、何を目指す専門職として位置づけられているかを学ぶ。
2	ソーシャルワークの歴史	ソーシャルワーク実践理論の歴史的発展	ソーシャルワークの実践モデルが、歴史的な背景の中でどのように形成されてきたかを学ぶ。
3	ソーシャルワークの倫理綱領	ソーシャルワーク専門職と倫理綱領	なぜ、ソーシャルワーク実践において倫理が問われ、倫理綱領がどのように位置づけられ、運用されているかを学ぶ。
4	精神保健福祉士の業務指針	精神保健福祉士とはどのような専門職か	わが国の精神新保健福祉士がどのような実践を展開しているのかを学ぶ。
5	ソーシャルワークの構成要件	ソーシャルワークの原則、理念、知識、技術	ソーシャルワーク専門職の役割と機能を理解する上で、その原則、理念、知識、技術について学ぶ。
6	ソーシャルワークの実践理論モデル	医学モデル、生活モデル、ストレングスモデル	今日のソーシャルワーク実践理論の中心となっているモデルについて学ぶ。
7	精神保健福祉分野のソーシャルワーク	基本的視点、人と環境の相互作用、リカバリー	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの基本的視点を踏まえて、地域包括ケア、環境調整や当事者のリカバリーの理念について理解する。
8	ミクロ・メゾ・マクロレベルの実践	ミクロからメゾ、マクロ実践の全体論的理解	ソーシャルワーク実践におけるミクロからメゾ、マクロレベルの実践の統合とそれらの全体論的理解を深める。
9	援助関係の形成	援助関係の形成のための原則と課題	ソーシャルワーク実践における援助関係の重要性と専門的援助関係について学ぶ。
10	個別支援の技法①	個別支援の技法インテーク、アセスメント	個別支援の技法として、面接法、インテーク、アセスメントの技法について学ぶ。

11	個別支援の技法②	個別支援の技法支援計画、計画・実施	個別支援の技法として、個別支援計画の作成、計画に沿った支援とその留意点について学ぶ。
12	個別支援の技法③	個別支援の技法モニタリング、終結、評価	個別支援の技法として、モニタリング、終結での支援と支援の評価に関する技法を学ぶ。
13	集団支援の技法①	集団支援の技法原則、支援の構造	集団支援の技法として、その原則、支援の構造について学ぶ。
14	集団支援の技法②	集団支援の技法グループダイナミズム	集団支援の技法として、グループダイナミズムとその活用について学ぶ。
15	ケアマネジメント	ケアマネジメントの概念と原則	ケアマネジメントの概念と原則を中心に、今日のケアマネジメント実践の全体構造を学ぶ。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	精神保健福祉分野におけるソーシャルワーク実践において、何故、倫理綱領が重要であるかについて、具体的な実践課題を例示して2,000 字程度で述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

論述式レポートの作成においては、レポート作成の基本的な形式やルールを順守して作成してください。また、レポート課題の意図を理解し、論点を絞って記述するようにしてください。そのうえで、根拠や論拠を踏まえて、自身の意見や考えを述べるようにしてください。

■レポート評価の基準

1）論旨に一貫性があって論理的な説明になっているかどうか。なっていない場合などにおいて減点。
2）内容がレポート課題の趣旨や出題の意図に沿ったものであるかどうか。
3）自分なりの意見や考えが盛り込まれているかどうか。
4）誤字や脱字、漢字の変換ミス、不適切な表現や誤った概念の理解などがないかどうか。あった場合などにおいて減点。

科目修了試験

■評価基準

上記のレポート評価の基準に加えて、『レポート課題集』にある本科目全体の内容についての理解を問います。また、解答字数は、800 字以上を基準とします。